

しょう

ひと

はいいよ

障がいのある人への配慮

しぜん きも たす あ
自然な気持ちで助け合う

しょう
障がいのあるなしにかかわらず、困っている人を
たす どうぜん
助けるのは当然のことです。「おたがいさま」という
しぜん きも たす あ
自然な気持ちで助け合いましょう



ひとり りかい
一人ひとりのちがいを理解する

しょう しゅるい しょうじょう しょう
障がいには、さまざまな種類や症状があります。障がいの
ひと こせい とくちょう ひとり
ある人の個性や特徴も一人ひとりちがいます。

あいて たちば かんが
相手の立場になって考える

しょう ひと
障がいのある人が、どんなことをしてほしいかを
き てだす
きちんと聞いてから手助けしましょう。



とくべつ
特別なあつかいをしない

しょう ひと とくべつ め み どうじょう
障がいのある人を特別な目で見るとはやめましょう。同情する
ひと てつだ
のではなく、その人のためになるお手伝いをしましょう。

しょう 「障がい」ってなんだろう

しょう なん げんいん からだ
「障がい」とは、何らかの原因で体 や
こころ はたら

心のどこかがうまく働かないために、

にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ
日常生活や社会生活で、まわりから

りかい きょういよく ひつよう じょうたい
の理解や協力が必要な状態です。

う しょう ひと
生まれたときから障がいのある人もいれば、

びょうき じこ しょう ひと
病気や事故などによって障がいをうける人もい

しょう みちか
ます。障がいは、だれにとっても身近なことです。

てだす
わたしたちにどんな手助けが

かんが
できるのかを考えてみましょう。

